

日语分级阅读

高级

适用于N2N1级别学习者

赠
音频
日汉对照



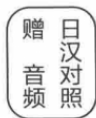
小狗小白



日语分级阅读研究组 编



华东理工大学出版社
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS



日语分级阅读 

适用于N2N1级别学习者

小狗小白

日语分级阅读研究组 编



 华东理工大学出版社

· 上海 ·

图书在版编目(CIP)数据

日语分级阅读. 小狗小白: 高级: 赠音频: 日汉对照 / 日语分级阅读研究组编. — 上海: 华东理工大学出版社, 2022.11

ISBN 978-7-5628-6994-8

I. ①日… II. ①日… III. ①日语-阅读教学-自学参考资料 IV. ①H369.4

中国版本图书馆CIP数据核字(2022)第188238号

策划编辑 / 王一佼

责任编辑 / 刘 溱

责任校对 / 金美玉

装帧设计 / 王 翔

插 画 / 施 纹

出版发行 / 华东理工大学出版社有限公司

地址: 上海市梅陇路130号, 200237

电话: 021-64250306

网址: www.ecustpress.cn

邮箱: zongbianban@ecustpress.cn

印 刷 / 杭州日报报业集团盛元印务有限公司

开 本 / 890mm × 1240mm 1/32

印 张 / 1.625

字 数 / 43千字

版 次 / 2022年11月第1版

印 次 / 2022年11月第1次

定 价 / 15.00元

版权所有 侵权必究

目录

しろ	002
白	002
小狗小白	003

贈 日
音 漢
頻 對
照

日语分级阅读 第三级

适用于N2/N1级别学习者

小狗小白

日语分级阅读研究组 编



 華東理工大學出版社
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

· 上海 ·

しろ
白あくとがわりみうのすけ
芥川龍之介

扫一扫, 听音频

ある春の午過ぎです。白という犬は土を嗅ぎ嗅ぎ、静かな往来を歩いていました。狭い往来の両側にはずっと芽をふいた生垣が続き、そのまた生垣の間にはちらほら桜なども咲いています。白は生垣に沿いながら、ふとある横町へ曲りました。が、そちらへ曲ったと思うと、さもびっくりしたように、突然立ち止ってしまいました。

それも無理はありません。その横町の七八間先には印半纏を着た犬殺しが一人、罨を後ろに隠したまま、一匹の黒犬を狙っているのです。しかも黒犬は何も知らずに、犬殺しの投げてくれたパンか何かを食べているの

重点语法

- ② ～(か)と思うと：“刚……就……”，表示事情几乎同时发生

小狗小白

那是一个春天的下午。一条名叫小白的小狗漫步在安静的街道上，不停嗅着沿路的泥土。狭窄街道的两侧，灌木篱笆不断向前延伸着，灌木已经冒出了新芽，其间还夹杂着樱花树等树木，星星点点绽放着花朵。小白沿着篱笆走着，忽地拐进了一条小巷。然而，刚拐进小巷，小白就像被什么吓了一跳，突然停下了脚步。

难怪它会被吓到，小巷前方十三四米处正站着一个身穿印有商铺名称的短褂的猎狗人。他将套索藏在身后，正盯着一条黑狗想下手。但黑狗毫无察觉，正专心吃着猎狗人扔过来的面包之类的诱饵。不过小白不光是为此感到震

です。けれども白が驚いたのはそのせいばかりではありません。見知らぬ犬ならばともかくも、今犬殺しに狙われているのはお隣の飼犬の黒なのです。毎朝顔を合わせる度にお互の鼻の匂を嗅ぎ合う、大の仲よしの黒なのです。

白は思わず大声に「黒君！あぶない！」と叫ぼうとしました。が、その拍子に犬殺しはじろりと白へ目をやりました。「教えて見ろ！貴様から先へわなにかけるぞ。」——犬殺しの目にはありありとそういう嚇しが浮んでいます。白は余りの恐ろしさに、思わず吠えるのを忘れました。いや、忘れたばかりではありません。一刻もじっとしてはいられぬほど、臆病風が立ち出したのです。白は犬殺しに目を配りながら、じりじり後ずぎりを始めました。そうしてまた生垣の蔭に犬殺しの姿が隠れるが早い、かわいそうな黒を残したまま、一目散に逃げ出しました。

重点语法

N2 ～てはいられない: “不能……”

惊。如果是不认识的狗也就算了，可猎狗人现在盯上的是邻居家的小黑。这可是它的好朋友小黑啊，它们每天早上碰面时都会互相闻闻鼻子。

小白不由自主地想要大喊“小黑！有危险！”但刚想出声，猎狗人便恶狠狠地瞪向小白。“有本事你就叫啊！我先让你尝尝厉害！”——猎狗人的眼神透着赤裸裸的威胁，吓得小白一时忘记了出声。不，这不是单纯的忘记。它实在太害怕了，怕得想立马拔腿就跑。小白注意着猎狗人，一步一步开始往后退。等到猎狗人完全被篱笆的阴影遮住，小白便扔下可怜的小黑，一溜烟地逃跑了。

その途端^{とたん}にわなが飛^とんだのでしょ^{つづ}う。続けさまにけた
たましい黒^{くろ}の鳴^なき声^{こゑ}が聞^{きこ}えました。しかし白^{しろ}は引^ひき返^{かえ}す
どころか、足^{あし}を止^とめるけしきもありません。ぬかるみを
飛^とび越^こえ、石^{いし}ころを蹴^け散^ちらし、往^{おう}来^{らい}どめの縄^{なわ}を擦^すり抜^ぬ
け、五味^{ごみ}ための箱^{はこ}を引^ひっくり返^{かえ}し、振^ふり向^むきもせ^にずに逃^に
げ続^{つづ}けました。ごらん^{さか}なさい。坂^かを駈^かけお^りるのを！そ
ら、自^じ動^{どう}車^{しゃ}に轆^ひかれそ^{しろ}うになり^{いのち}ました！白^{しろ}はもう命^{いのち}の
助^{たす}かりた^さきに夢^む中^{ちゆう}にな^しっているの^しかも知^しれませ^ん。い
や、白^{しろ}の耳^{みみ}の底^{そこ}にはい^{くろ}まだに黒^{くろ}の鳴^なき声^{こゑ}が虻^{あぶ}のよう^に
にうな
唸^{うな}っているのです。

「きやあん。きやあん。助^{たす}けてくれえ！きやあん。きや
あん。助^{たす}けてくれえ！」

二

白^{しろ}はやつと喘^{あえ}ぎ喘^{あえ}ぎ、主^{しゅ}人^{じん}の家^{いえ}へ帰^{かえ}つて来^きました。黒^{くろ}
塀^{べい}の下^{した}の犬^{いぬ}くぐりを抜^ぬけ、物^{もの}置^{おき}小^こ屋^やを廻^{めぐ}りさえすれば、
犬^{いぬ}小^こ屋^やのある裏^{うら}庭^{にわ}です。白^{しろ}はほとん^{かぜ}ど風^{ふう}のよう^にに、裏^{うら}庭^{にわ}

套索许是在小白逃跑的瞬间落了下来，紧接着便响起了小黑刺耳的尖叫声。但小白别说是掉头折返，甚至连脚步都未曾停下。它越过泥坑，踢飞石子，擦身穿过拦路的绳索，打翻了垃圾箱，头也不回地一路狂奔。请看，那飞速下坡的身姿！天啊，它差点就被车撞到了！或许小白现在满脑子只有“不想死”这个念头。不，其实小黑的哀嚎仍像牛虻一样，一直在小白耳朵深处嗡嗡作响。

“汪！汪！救命啊！汪！汪！谁来救救我啊！”

二

小白喘着粗气，总算回到了主人家。只要穿过黑色围墙下面的狗洞，绕过储藏室，便是狗屋所在的后院。小白像一阵风一样奔向后院的草坪。都已经跑到这里了，肯定不

の芝生へ駆けこみました。もうここまで逃げて来れば、
わなにかかる心配はありません。おまけに青あおした芝
生には、幸いお嬢さんや坊ちゃんもボオル投げをして
遊んでいます。それを見た白の嬉しさは何とればいい
のでしょうか？白は尻尾を振りながら、一足飛びにそこへ
飛んで行きました。

「お嬢さん！坊ちゃん！今日は犬殺しに遇いましたよ。」
白は二人を見上げると、息もつかずにこういいまし
た。（もっともお嬢さんや坊ちゃんには犬の言葉はわか
りませんから、わんわんと聞えるだけなのです。）しか
し今日はどうしたのか、お嬢さんも坊ちゃんもただ呆
気にとられたように、頭さえ撫でてはくれません。白
は不思議に思いながら、もう一度二人に話しかけました。

「お嬢さん！あなたは犬殺しを御存じですか？それは
恐ろしいやつですよ。坊ちゃん！わたしは助かりました
が、お隣の黒君は掴まりましたぜ。」

それでもお嬢さんや坊ちゃんは顔を見合せているば
かりです。おまけに二人はしばらくすると、こんな妙

用再担心被抓了。幸运的是，小姐和少爷也正在绿油油的草坪上玩着投球游戏。小白看着此情此景，内心的喜悦不知该如何形容。它摇着尾巴，一下子跃到两人跟前。

“小姐！少爷！我今天碰到猎狗人了。”

小白抬头望向两人，迫不及待地说道。（不过小姐和少爷都听不懂狗语，所以听起来只是汪汪的叫声。）但今天不知道怎么了，小姐和少爷只是一脸惊讶，连小白的头都不摸一下。小白觉得很不可思议，再一次向两人搭话。

“小姐！您知道猎狗人吗？他真可怕！少爷！虽然我逃回来了，但邻居家的小黑被抓了。”

小姐和少爷仍是面面相觑。两人呆站了一会儿后，甚至说起了奇怪的话。

なことさえいい出すのです。

「どこの犬でしょう？春夫さん。」

「どこの犬だろう？姉さん。」

どこの犬？今度は白の方が呆気にとられました。(白にはお嬢さんや坊ちゃんのことばもちゃんと聞きわけることが出来るのです。我々は犬の言葉がわからないものですから、犬もやはり我々の言葉はわからないように考えていますが、実際はそうではありません。犬が芸を覚えるのは我々の言葉がわかるからです。しかし我々は犬の言葉を聞きわけることが出来ませんから、闇の中を見とおすことだの、かすかな匂を嗅ぎ当てることだの、犬の教えてくれる芸は一つも覚えることが出来ません。)

「どこの犬とはどうしたのです？わたしですよ！白ですよ！」

生词短语

微か/幽か(かすか)：①[ナ形]模糊，微弱

重点语法

㉒ ～ものだから：“因为……”

“这是谁家的狗呀，春夫？”

“这是谁家的狗啊，姐姐？”

谁家的狗？这下轮到小白目瞪口呆了。（小白能够听懂小姐和少爷的话。由于我们听不懂狗语，便理所当然地认为狗也听不懂人话，其实并非如此。正因为听得懂我们的话，狗才能学会各种技能。但我们不懂狗语，所以学不会狗教给我们的技能，如黑暗中视物、嗅闻微弱的气味等。）

“‘谁家的狗’是什么意思？是我啊！我是小白啊！”

けれどもお嬢^{じょう}さんはあいかわらず^{きみわる}気味悪^{しろ}そうに白を
眺^{なが}めています。

「お隣^{となり}の黒^{くろ}の兄弟^{きょうだい}かしら？」

「黒^{くろ}の兄弟^{きょうだい}かも知れないね。」坊ちゃんもバットをおも
ちゃにしながら、考^{かんが}え深^{ぶか}そうに答^{こた}えました。

「こいつも体^{からだ}中^{じゅう}まっ黒^{くろ}だから。」

白^{しろ}は急^{きゅう}に背^せ中^{なか}の毛^けが逆^{さか}立^だつように感^{かん}じました。まっ
黒^{くろ}！そんなはずはありません。白^{しろ}はまだ子^こ犬^{いぬ}の時^{とき}から、
牛^{ぎゅう}乳^{にゅう}のように白^{しろ}かったのですから。しかし今^{いま}前^{まえ}足^{あし}を見
ると、いや、——前^{まえ}足^{あし}ばかりではありません。胸^{むね}も、腹^{はら}
も、後^{あと}足^{あし}も、すらりと上^{じょう}品^{ひん}に延^のびた尻^{しつ}尾^ぽも、みんな鍋^{なべ}
底^{ぞこ}のようにまっ黒^{くろ}なのです。まっ黒^{くろ}！まっ黒^{くろ}！白^{しろ}は気^きで
も違^{ちが}ったように、飛^とび上^{あが}ったり、跳^はね廻^{めぐ}ったりしなが
ら、一^{いっ}生^{しょう}懸^{けん}命^{めい}に吠^ほえ立^たてました。

生词短语

相変わらず(あいかわらず)：①[副]依然，
照旧

気味悪い(きみわるい)：④[ナ形]令人不
快的，可怕的

但是小姐依然不快地看着小白。

“是不是隔壁小黑的兄弟呀？”

“说不定是呢。”少爷把玩着球棒，像是经过了深思熟虑般地回答。

“因为这家伙也是全身黑漆漆的呢。”

小白瞬间感觉背上的毛都倒竖了起来。黑漆漆！怎么可能？小白从小就像牛奶一样白。但现在，小白一看前腿，不——不光是前腿，胸口、腹部、后腿、笔直而优雅地延展的尾巴，全都变得像锅底一样黑漆漆的。黑漆漆！黑漆漆！小白像是发了疯一样，拼命吠叫着胡奔乱跑，上蹿下跳。

